

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から見える子どもたちの姿

伊豆市立天城中学校

平成30年4月17日（火）に中学3年生を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』の結果について、本校の概要をお知らせします。

周知のように、本調査は「子どもたちの学力や学習・生活状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善に役立てる」ことを目的としています。つまり、この結果をもとに学校と家庭が連携しながら、子どもたちの学力向上や豊かな心の育成、規則正しい生活習慣の定着等をめざしていくことが望まれます。以下に、調査結果から見える本校の子どもたちの姿をまとめましたので、各家庭で話題にさせていただきますようお願いいたします。

1 学力調査結果の概要

①教科に関する調査結果（全国との平均正答率の比較）

| 平均正答率 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|
| H30 | ◎ | △ | ○ | ○ | △ |

- ◎ 全国を上回っている
- 全国とほぼ同じ程度
- △ 全国を下回っている

* 理科は、3年ごとに実施のため、H27との比較

② 領域別の回答状況（全国との平均正答率の比較）

※紙幅の都合により、特徴的な問題のみ掲載しています！

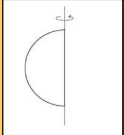
国語 内容を的確に捉えて書くことに課題

| 領域別 平均正答率 | 国語A | | | | 国語B | | | |
|--------------|-----------|------|------|----------|-----------|------|------|----------|
| | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語に関すること | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語に関すること |
| H30 | ◎ | ○ | △ | ◎ | △ | △ | ○ | ○ |

| 正答率が高かった問題 | 正答率が低かった問題 |
|---|---|
| <p>【漢字の書きの問題】 ・舞台のヌクが上がる。 答：幕 ・先制点をユルす。 答：許</p> <p>【慣用句の意味を問う問題】 ・「心を打たれる」の意味として適切なものを、あとから選びなさい。 ①遠慮する ②感動する ③一つのこと集中する ④あれこれと心配する 答：②</p> | <p>【漢字の読みの問題】 ・模型を作る。 答：モケイ</p> <p>【適切な敬語を選択する問題】 ・先生が私たちに大切なことを(①申し上げた ②申した ③お言いした ④おっしゃった) 答：④</p> <p>【歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題】 ・「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。 答：とおさざるなし</p> |

数学 数学的に解釈し、表現することに課題

| 領域別 平均正答率 | 数学A | | | | 数学B | | | |
|--------------|-----|----|----|-------|-----|----|----|-------|
| | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 |
| H30 | ○ | ○ | △ | △ | △ | ◎ | △ | ○ |

| 正答率が高かった問題 | 正答率が低かった問題 |
|--|---|
| <p>【絶対値の意味に関する問題】 ・絶対値が6である数をすべて書きなさい。 答：6、-6</p> <p>【正の数と負の数の問題】 ・ある日の最低気温は-3℃で、その前日の最低気温は-7℃であった。 ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式として正しいものをあとから選びなさい。 ①(-3)+(-7) ②(-3)-(-7) ③(-7)+(-3) ④(-7)-(-3) 答：②</p> | <p>【指数を含む正の数と負の数の問題】 ・$2 \times (-5^2)$を計算しなさい。 答：-50</p> <p>【比例式の問題】 ・比例式 $x:20=3:4$ が成り立つとき、xの値を求めなさい。 答：15</p> <p>【空間図形の問題】 ・右の図の半円を、その直径を軸として1回転させて立体をつくります。そのとき、できる立体の名称を書きなさい。 答：球</p>  |

根拠を踏まえて、分析・解釈することに課題

| 領域別 平均正答率 | 理科 | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| | 物理的領域 | 化学的領域 | 生物的領域 | 地学的領域 |
| H30 | △ | △ | △ | ○ |

| 正答率が高かった問題 | 正答率が低かった問題 |
|---|---|
| <p>【アルミニウムと水の温度変化の関係を指摘する問題】</p> <p>【考察】下のグラフから、BはAより温度が（ X ）ので、アルミニウムが水の温度の変化に関係している。 また、BはAより最も高い温度になるまでの時間が（ Y ）ので、アルミニウムが水の温度の変化に関係しているといえる。</p> <p>【結果】</p> <p>答 X:ア Y:イ</p> <p>・考察の（ X ）（ Y ）に入る適切なものを、それぞれ選びなさい。 X ア 高くなる イ 低くなる ウ 変わらない Y ア 長い イ 短い ウ 変わらない</p> | <p>【軟体動物の体のつくりの特徴に関する問題】</p> <p>航太さんは、魚屋で軟体動物を2種類見つけました。軟体動物の組み合わせとして、適切なものを、あとから選びなさい。</p> <p>ア アジとイワシ イ イカとタコ ウ ウニとナマコ エ エビとカニ</p> <p>答:イ</p> |

総評

調査結果から、基礎的・基本的な知識・技能の定着（A問題）については、概ね良好な状況にあります。一方、身に付いた知識・技能を活用すること（B問題）には、若干の課題が見られます。平素の授業において、「なぜそうなるのか」といった理由を説明する場面や、「なぜそう考えたのか」といった思考の流れを説明するような場面を継続的に取り入れています。

また、全体的な傾向として、無解答率の高い問題が目立つことが挙げられます。「自信がない」「問題の意味がわからない」など理由は様々です。対話的な学習場面や主体的に課題を追求する時間を日々の授業の中に効果的に位置づけ、自分の考えを自信をもって表現したり、最後まで粘り強く挑戦したりする資質・能力を育てていきます。

2 学習状況調査の結果

| 観点 | 全国平均との比較 |
|------------|----------|
| 数学への関心等 | △ |
| 理科への関心等 | ◎ |
| 地域・社会への関心等 | ◎ |
| 規範意識 | △ |
| 自尊感情 | △ |
| 生活習慣 | ○ |
| 学習習慣 | △ |

| |
|--|
| <p>大切にしたい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加している ・地域や社会をよくするために、何をすべきか考えたことがある ・朝食を毎日食べている |
| <p>改善したい姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んでいる ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている ・自分には、よいところがあると思う ・将来の夢や目標を持っている |

※「国語への関心」は、質問項目にありません。

ご家庭で話題にしてください！

☆「新聞を読んでいますか」という質問に対して、「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」と回答した子どもの割合は、全国平均をかなり下回る結果となりました。過去の調査から、新聞を読むように勧めている家庭の子どもは、各教科の正答率が高いことが明らかになっています。子どもが興味をもちそうな記事を紹介したり、記事の内容を話し合ったりして、まずは新聞に触れる機会をつくることから始めてみるのもよいかもしれません。

☆「学校の授業時間以外の普段の勉強時間」では、「2時間以上」と回答した子どもの割合が、全国平均を上回っています。一方、「家で、計画を立てて勉強をしていますか」という質問における肯定的な回答の割合は、全国平均を大きく下回っています。このことから、勉強時間の多くを塾等での学習時間に充てていることが推測できます。変化する社会に適切に対応するためには、生涯にわたって学ぶ姿勢が必要だと言われます。好きな教科や興味のある事柄など、どんなことでも結構です。主体的に家庭学習に取り組む時間を大切にしたいものです。

☆「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した子どもの割合が、全国平均を若干下回っています。将来の夢や目標を持つことは、自立への第一歩であると言われます。そのためにも、中学生の今は、いろんなものを見たり、聞いたり、経験したりして、視野を広げることが大切だと思います。そういう意味では、本校で取り組んでいる天城学習は、子どもたちにとって貴重な学びの場になっています。